

警 察 署 協 議 会 議 事 録

協 議 会 名	令和7年第1回宮城県若林警察署協議会
開 催 日 時	令和7年2月17日（月）午後3時30分から午後5時05分まで
開 催 場 所	若林警察署4階大会議室
出 席 者 等	1 協議会委員 ・ 出席委員～小野和徳会長、江刺善之副会長、伊東義政委員、菅原康子委員、吉田高美委員、佐藤奈緒委員、佐々木楓委員、庄子康一委員、 以上8名 ・ 欠席委員～千葉 宏委員、濱中美佳子委員 2 警察署側 署長、副署長、刑事官、副参事、会計課長代理、警務課長、留置管理課長、生活安全課長、地域課長、刑事第一課長、交通課長、警備課長 以上12名 刑事第二課長～欠席
議 事 概 要	別紙のとおり
備 考	

備考 所定の欄に記載することができないときは、別紙に記載の上、添付すること。

議 事 概 要	1 開会 開会の後、若林警察署協議会小野和徳会長から挨拶があった。 2 定足数確認 議事に先立ち、警務課長から、本会議については、「警察署協議会に関する規則」第4条第3項の規程に照らし、委員10名中過半数を超える8名の出席であることから、会議が成立している旨報告があった。 3 協議・報告事項等 (1) 当署管内の治安情勢について【報告事項】 署長から、令和6年中における ア 刑法犯の発生・検挙状況等 イ 特別法犯の検挙状況 ウ 非行少年等の検挙・補導状況 エ 交通事故発生状況 オ 警察安全相談の受理状況 について説明がなされた（委員からの質疑等なし。）。 ◎ 議長 昨年中、若林警察署管内の治安維持に昼夜分かたず御尽力いただき感謝申し上げます。引き続き、本年も地域住民が安全安心に暮らせるよう犯罪や交通事故の抑止に御尽力いただくようお願い申し上げます。 協議会としても各委員の協力を得ながら、地域の代表としての役割を果たして参りたいと思う。 (2) 令和7年中の業務重点項目について【協議事項】 各課長等から、それぞれ業務重点項目について説明した。 ア 会計課 (ア) 組織の基盤を支える適正な会計業務の推進 (イ) 警察活動の基盤となる警察施設の整備 (ウ) 親切かつ適正な遺失・拾得物管理業務の徹底 イ 警務課 (ア) 優秀な人材の確保に向けた積極的な採用募集活動 (イ) 働きやすい職場環境づくりの推進 (ウ) 精強な職務執行力を確保するための効果的な教養・訓練の推進 (エ) 犯罪被害者等の視点と心情に配慮した支援活動の推進 ウ 留置管理課 (ア) 基本原則の徹底による留置管理業務の推進 (イ) 捜留分離と捜留連携の徹底 (ウ) 留置担当官の士気高揚 エ 生活安全課
---------	---

議 事 概 要

- (ア) 犯罪の起きにくい環境づくりと身近な犯罪の抑止等の推進
- (イ) 人身安全関連事案に対する対処体制の確立と被害者等の保護対策の推進
- (ウ) 少年の健全育成活動の推進
- (エ) 県民に不安を与える犯罪の徹底検挙と総合力を生かした対策の推進
- (オ) サイバー空間の脅威に対する総合対策の推進

オ 地域課

- (ア) 職務質問を始めとする積極的な街頭活動の推進
- (イ) 現場執行力強化に向けた取組の推進
- (ウ) 所管区責任に基づく実態把握活動等の推進

カ 刑事第一課

- (ア) 初動捜査の強化による重要犯罪の徹底検挙
- (イ) 住民に不安を与える空き巣・忍込み等侵入窃盗の徹底検挙
- (ウ) 最新の鑑識技術の活用と多角的な現場鑑識活動の推進

キ 刑事第二課（刑事官）

- (ア) 社会・経済情勢等の変化に的確に対応した知能犯捜査の推進
- (イ) 総合的な組織犯罪対策の推進
- (ウ) 総合的な暴力団対策等の推進
- (エ) 総合的な銃器薬物対策の推進

ク 交通課

- (ア) 交通死亡事故抑止対策の推進
- (イ) 飲酒運転根絶に向けた取組の強化

ケ 警備課

- (ア) 災害・テロ等緊急事態への迅速・的確な対応
 - (イ) 変化する治安上の課題への的確な対応
- について説明がなされた。

◎ 委員

SNSを利用した詐欺や投資詐欺等の特殊詐欺が非常に多くなっているとの報告について、生活安全課と刑事第二課から別々に報告があったが、それぞれ連携しているのか。

● 刑事官

特殊詐欺については、生活安全課が特殊詐欺の抑止対策を、刑事第二課が事件検挙を担当している。

その他、地域課、刑事第一課、交通課等とも協力体制をとり、取締りや検挙等の各種情報を吸い上げて、犯人の検挙や抑止対策につなげている。担当が違うためそれぞれの課から報告しているが、連携しており、警察署のみならず本部や全国の警察とも連携し、抑止対策を図っている。

今後も連携しながら抑止対策を図っていく。

◎ 委員

オンラインカジノは、組織的詐欺になるのか。ゲームからアプリにつながり、知らず知らずのうちに被害に遭うということも聞

議 事 概 要

いた。対策も含めて教えていただきたい。

● 生活安全課長

オンラインカジノは賭博であり、日本国内からのアクセスも禁止されている。各種SNSを介して広告を見たり聞いたりする場合もあり、比較的、我々の身近なところに落とし穴がある場合がある。一般に周知されているものであれば加担しても大丈夫だろうという安易な気持ちから、結局は賭博に手を染めてしまう場合がある。

オンラインカジノだけではないが、SNS型の詐欺や闇バイト等についてもSNSが犯罪に手を染める入口になっていると考えられる。

このようなSNSの危険性や使い方について、小さいうちから保護者を含めた注意喚起の必要性があると考ええる。

◎ 委員

若林警察署管内において電動キックボードの交通事故はあるのか。

● 交通課長

昨年中、新寺地内において電動キックボードの関係する交通物損事故が1件発生している。

事故形態は、電動キックボードが主道路の交差点に入った際に、直進してきた車両と衝突した事案で、幸い怪我はなかったものの夜間に発生した交通事故であり、危険性の高い事故であった。

電動キックボードの交通取締りについては、昨年4、5件の検挙があったと記憶している。違反形態は、右側通行違反や信号無視であり、新寺や連坊管内等仙台中央警察署と隣接する地域に多い。

いずれもLUUPと呼ばれるレンタル型電動キックボードである。

現在、LUUPのポートも増えている状況にあることから、今後さらに、交通事故や取締りも増えることが懸念されるため、対策や広報啓発活動が重点項目になっていくと考える。

◎ 委員

自宅近くの一方通行路に「歩行者と自転車を除く」という標識があるが、自転車は乗れば軽車両と言われているので逆行しているとも考えられるが、どのように区別したら良いのか。

● 交通課長

自転車についてはルール of 徹底も含めて難しいところである。

自転車は、免許保有者に限らず小さい子どもも利用できる機動力もあり、小回りの効く乗り物であるため、規制の対象から除いたものとしている。

一般的に規制を新たに設ける場合であっても、自転車は、歩行者と一体のものと考えて規制の対象外とする場合が多い。

◎ 委員

自転車は乗れば軽車両という認識があるためか、歩車分離の交

差点等では、歩行者信号が青の場合だけでなく、車両の青信号でも走行している場合がある。便利な乗り物であるが危険である。

また、電動ではないキックボードも小さな時から乗っている乗り物で、危ないと思う場面がある。学校では、キックボードの乗り方まで教えていないため、好き勝手に乗り回し、道路への飛び出し等の交通事故も懸念される。そういった指導もお願いしたい。

警察業務は多岐にわたり大変かと思うが、引き続き住民が安全安心に暮らせるようお願い申し上げる。

(3) 速度取締り指針について【報告事項】

交通課長から、

ア 当署管内における速度取締り重点区域、重点時間帯、重点路線

イ 当署管内における交通事故の特徴

ウ 速度違反以外の取締りや警戒活動

について説明がなされた（委員からの質疑等なし。）。

(4) 少子高齢化による女性の登用について【質問事項】

◎ 委員

少子高齢化により女性の登用が必要になってくる。女性警察官が4割位になり、管理職も多数になることを期待する。そのための内部の改革をお願いしたい。

● 警務課長

宮城県警察においては、「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律」に基づき、「宮城県警察におけるワークライフバランス等の推進のための行動計画」を策定し、取り組んでいる。

その中の項目の一つとして、女性警察官の割合について掲げており、令和6年6月現在の公表値では、11.2%、目標値として令和8年4月1日時点で12%程度を掲げている。

同取組は、出産育児期の女性職員だけでなく、その配偶者や上司も対象としており、ライフステージや年代別等重点指向型の研修会や育児休業支援制度を行っている。今後も女性が働きやすい職場環境作りに努めていきたい。

◎ 委員

若林警察署は、女性署長であり、他の警察署より進んでいると思うが、出産や育児のために辞めてしまう女性警察官もいるのではないかと思う。長く研修を受け一人前になった人材的にも力のある方々だと思うのでもったいない。

DV相談も多くなっており、今後ますます女性警察官の活躍する場面も多くなって来ると思う。今後も復帰研修や再採用などをすすめて、女性警察官や女性の管理職が増えることを期待する。

◎ 委員

日本は、他国に比べるとまだまだ管理職の女性の比率が低い。

今後、再雇用の制度等により女性管理職が増えることを期待する。

(5) 若林病院前の歩道の歩行者・自転車分離措置について【意見】

◎ 委員

若林病院前の歩道を歩行者、自転車を分離していただいた。危険回避にもなり、地域住民も喜んでいる。

生協やセントラルの前の信号機の無い赤い歩道も住民から好評だった。

感謝申し上げます。

● 交通課長

若林病院の前の歩道については、昨年の夏ころに地域住民からも要望があった。道路管理者と合同で点検したところ、危険性が認められたことから、昨年12月にポールを設置している。

赤い横断歩道については、信号機のない交差点4か所の横断歩道を赤く塗装し、目立たせている。

今後、長いスパンで、交通事故の発生状況等の効果測定をし、効果があれば、道路管理者と連携しながら広く展開していきたい。

(6) 荒町子まもりプロジェクトについて【意見】

◎ 委員

荒町子まもりプロジェクトについて、若林警察署と連携させていただき4年となった。感謝申し上げます。その中で若樹隊に出演してもらい、非常に好評だったので、来年以降もロマンス詐欺等バリエーションを増やして頑張ってもらいたいと思う。

先ほど生活安全課長から話もあったが、SNSの詐欺等の危険性について、親子での防犯教室等の開催もお願いしたい。

また、先日、荒町商店街に若林警察署から感謝状をいただいた。

出席した理事長から、警察署は入りにくいイメージだったが、日頃から関わっていると入りやすいという話があった。

3年前に一日警察署長に任命された男子児童は、中学入学当時から生徒会長になると話しており、中学2年生の現在、生徒会の副会長を務めている。その当時、署長から「私は署に戻りますが、今日一日よろしくお願いします。」との言葉に、まるで魂が入ったように緊張から一転し、堂々と歩くようになった。彼は、将来警察官になるのではないかと考えている。少なからず、あの一日警察署長の経験が影響していると思うので、小中学校のうちから警察と関わることで、警察官を志す子供を増やせば人材不足解消に繋がるのではないかと考える。

◎ 委員

顔見知りになると関わりや連携が深くなる。いじめや虐待はなかなかなくなる。子どもたちがいじめや虐待で自死などしな

いよう各機関と連携しながら、子供達を守っていきたいと思うとともに、子ども達が安心して生活できる家庭であり、学校であってほしいと願う。

4 次回の警察署協議会開催予定について【事務連絡】

警務課長から、

本年度最後の協議会を滞りなく終えることが出来た。現体制での協議会は今回で最後となる。各委員には、会長を中心に一丸となって地域住民の代表として忌憚のない御意見や御要望をいただき、地域住民の意見を警察行政に反映することが出来た。改めて感謝申し上げます。

旨の謝意があった。

次回の警察署協議会の開催時期について、令和7年6月頃を予定しており、日程については後日調整する旨説明があった。